

薬剤科

1. 概要

<特徴>

医薬品の適正使用の推進を目指し、使用薬剤の検討治療効果の向上と副作用の予防、保険薬局との連携による残薬調整の推進や疑義照会の簡略化、薬剤師の専門性を活かしたチーム医療の中で責務を果たせるように業務に取り組んでいます。

<特色>

感染対策やNST・褥瘡チームの一員として医薬品による治療の調整に積極的に関わっています。

外来では医師の訪問診療に初回同行し、患者様の要望や病状に合わせた処方薬の提案、残薬の確認を行っています。また保険薬局との連携を行い、より良い療養環境を整えられるよう橋渡しの役目も担っています。

2. スタッフ

薬剤師 4名（資格取得者；認定実務実習指導薬剤師 1名、糖尿病療養指導士 1名、）

3. 業務内容

<医薬品管理業務>

医薬品の購入と供給、管理などを行っています。医薬品が適正かつ安全に使用されるように、救急カートや外来処置室・病棟に配置している薬剤の保管方法や有効期限等のチェックも行っています。使用の際注意が必要な薬の情報提供も随時行っています。

<病棟薬剤業務>

入院前カンファレンスに参加し、使用薬剤の事前チェックを行っています。入院当日持参薬の確認を行い、医師・看護師に情報共有を行っています。病棟カンファレンスに参加し、他職種と連携を図っています。

<中心静脈栄養の無菌調剤>

クリーンベンチを用いて、高カロリー輸液を無菌的に調製しています。

<医薬品情報管理業務>

薬剤科内外からの問い合わせの対応、院内医薬品集の作成、プレアボイド報告の収集、副作用の情報収集や厚労省への報告などを行なっています。2019年度はプレドボイド報告

収集を 13 件、副作用報告 5 件行いました。

<実務実習生受け入れ>

薬学部 6 年制の実務実習を受け入れています。薬剤科内での業務をはじめ、病院薬剤師として患者様や他の職種との関わり方について学んで頂いています。

4. 教育・学習

<DI ニュース発行>

- ・ 2018 年度加算まとめと 2019 年度のからの変更点
- ・ 副作用報告
- ・ 副作用報告②
- ・ ソリタシリーズへ切り替え
- ・ 消化器内視鏡検査時における抗血栓薬の休薬期間目安 改訂
- ・ テトラビック自主回収
- ・ 輸液予備容量・投与日数制限のある薬
- ・ 遮光が必要な輸液について・タゾピペがなくなります
- ・ インフルエンザ治療薬について
- ・ 抗菌薬（看護師用）の投与速度・配合変化について
- ・ アクトヒブー一時欠品

<新薬評価セミナー>

「ミネプロ錠」「イベニティ」について学習・評価しました。

<その他の活動>

- ・ 埼玉土建保険委員研修会へ講師として参加
- ・ HPV ワクチン東京訴訟東京地裁へ傍聴参加
- ・ 高校生薬剤師体験受け入れ

5. 実績報告（2019 年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
薬剤管理指導	69	57	51	67	60	55	57	56	32	44	46	38
無菌調剤加算	112	126	166	143	134	133	139	105	133	177	119	162
麻薬加算	17	19	14	15	11	11	15	10	10	19	16	21
薬剤総合評価 調整加算	1	2	1	0	1	0	1	3	1	0	3	0

